



鳥栖中校区 小中一貫だより 第1号

鳥栖中 ・ 鳥栖小 ・ 鳥栖北小

令和6年7月19日

鳥栖中校区3校では、小中連携で、小中合同の研究を行っています。下記が研究テーマです。

研究テーマ 『心豊かで、たくましく、自ら学ぶ“とすっ子”の育成』

今年度、「**学びづくり部**」・「**生活づくり部**」・「**仲間づくり部**」・「**特別支援教育部**」の4部会を組織し、小中合同で研究を進めています。第1号では、4部会の取組内容についてお知らせいたします。

学びづくり部

鳥栖小学校の取組み

鳥栖小学校では今年度の取組みとして、研究テーマを「考える楽しさ」「わかる喜び」を味わわせる授業づくり～問題への出合わせ方と話し合い活動の充実を中心として～と設定し、「問い」を生む課題提示の工夫と「つなぐタイム」を設けた授業について研究を行うこととしています。

7月3日(水)には外部より講師を招聘して、第2学年全教職員参加のもと提案授業を行いました。算数の「かさ」の1時目の学習であり、「どうやったらはなれている2つのバケツのかさの大きさをくらべることができるか」という授業でした。課題提示を工夫し、どうしたら児童が「問い」をもつことができるかということで、今回の授業では、動画を用いて児童に「どうしたらいいんだろう」と悩むところから授業がスタートしました。自力解決の後は、児童は本校の取組みである「つなぐタイム」を行い、お互いに考えを述べ、質問を行いながら考えを深めていきました。最後、全体交流では、児童が出した考えが、実はすべて上手くないことが分かり、普遍単位の必要性に結びつけていきました。

授業研究会では、動画が効果的であり、児童が主体的に学んでいたこと、「つなぐタイム」では児童同士が熱心に考えを伝え合い、意欲的であったことなど、今後の研究への道筋がある程度分かる授業であったことが話し合われ、「つなぐタイム」を鳥栖小としてどう定義づけしていくかなどの課題も見えてきました。

今回の提案授業を受けて、東部教育事務所の中島指導主事からの助言では「どういう出合わせ方がいいのか」「つなぐタイム」をする意義について」などご助言をいただきました。今回の提案授業を受けて、学校全体でさらに研究を深めていこうとしています。



仲間づくり部

仲間づくり部では、6月に仲間づくり部長会を開き、今年度の取組みについて話し合いました。児童生徒が義務教育の9年間で、一人一人のよさや違いを認め合う仲間づくりの中で、児童生徒の人権に関する知的理解と人権尊重の意識、人権感覚を高める下記の取組みの実践を取り組んでいきます。

各学校での共通の取組み

- ・ 人権を大切にする視点を重視したよりよい仲間づくり
- ・ 児童・生徒会活動の交流に関する計画の立案と実施
- ・ 「友達のいいところ探し」の実施
- ・ 人権週間の実施
- ・ 構成的エンカウンターやソーシャルスキルトレーニングを取り入れた授業づくり

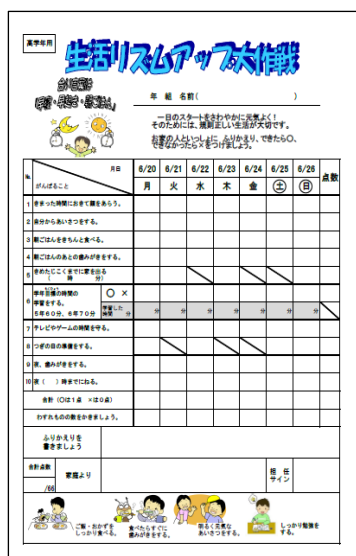
年間計画(小中連携の取組み)

- 9月 小中合同あいさつ運動(中学生が両小学校を訪問)
- 9月 「人権標語」(人権標語づくりを各学校で取組み、3校で共有します。)
- 9月 いじめに関する生徒会及び児童会の意見交流会
- 11月 中学校の新入学説明会
部活動の紹介(ICTを活用して、中学生が動画を作成)

生活づくり部

6月に3校の生活づくり部長会を開きました。その中で、本年度の生徒指導に関わる取組みについて話し合いました。昨年まで鳥栖中学校区で取り組んできた内容を振り返り、今後も児童生徒の健やかな成長を願い、継続すべきことを精査して、下記のように整理しました。

- 「とすっ子家庭学習の手引き」を全ての家庭に配付して、統一して取り組むこと。
- 鳥栖中学校のテスト期間に合わせて、小学校では「生活リズムアップ大作戦」週間を設定し、家庭と連携して学習や生活などの家庭での過ごし方の安定や向上に取り組むこと。



本年度も、地域や家庭の協力をいただきながら、子供達の9年間での確かな成長を願って取り組んでいきます。

特別支援教育部

小中学校9年間を通して継続的かつ連続的な指導や支援ができるように、人権教育の視点を取り入れながら取り組んでいきます。

研究主題

義務教育期の障害のある児童生徒の自立を目指した特別支援教育

(1)小中連携体制の取組み

- ① なかよし交流会の実施(小5・6、中学生)
- ② 鳥栖中学校特別支援学級授業参観、部活動見学(特支小6)
- ③ 特別支援学級在籍児童生徒の指導や支援についての情報交換
- ④ 教材・教具の情報交換
- ⑤ 保護者向け鳥栖中学校特別支援学級見学と相談会(小5・6)

(2)小中一貫の取組み

- ① 個別の教育支援計画及び個別の指導計画を同一様式で作成・活用
- ② 特別支援教育の指導・支援方法及び、教職員の特別支援教育に関する基本的な理解を推進する研修の充実
- ③ 全校児童への「特別支援学級・通級指導教室」に関する紹介を通した障害への理解の推進